学校番号	３１８

令和８年度　（専）家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ようこそ　ともに育ち合う保育の世界へ」　（教育図書）						
副教材等	「保育基礎　ワークノート」　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

（ａ）保育に関わる課題について思考を深め、課題を発見する。
（ｂ）実際に乳幼児とふれあう学習など、実践的な学習活動を行う。
（ｃ）周りの生徒と共同しながら主体的に学び、保育に関わる知識や技術を身につける。

2　学習の到達目標

（ａ）保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。
（ｂ）子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。
（ｃ）子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの保育	**1 保育の意義** 保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかかわるかを考える。 **2 保育の方法・保育の環境** 保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるには、どのようにしたらよいかなど保育者観についての考察を深める。	a: 保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいかなど、知識を身につけている。 b: 発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 c: 子どもを取り巻く環境が、子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じた接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。	ﾜｰｸﾉｰﾄ 定期考査	ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査	ﾚﾎﾟｰﾄ
	子どもの発達	**1 子どもの発達と特性** 乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個別性といった特性があることを理解する。 **2 月齢，年齢別の発育・発達** 誕生～乳児期・幼児期の発達の過程をそれぞれの月齢・年齢ごとの発達に沿った子どもの姿を通して理解する。 **3 子どもとかかわってみよう** 実際に子どもと触れあう機会や保育の様子の観察などを通じて、子どものものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方など保育への理解を深める。	a: 胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。 b: それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴、また心の発達に関心を持ち、保育に関連づけて考察することができる。 c: 保育実習において安全に配慮し，子どもと適切に関わったり観察したりすることができる。 保育実習の記録をまとめ、成果を発表することができる。	ﾜｰｸﾉｰﾄ 定期考査	ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査	実習ﾚﾎﾟｰﾄ

	子どもの文化	**1 子どもの文化の意義と支える場** 絵本や遊び・歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。 子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性など、具体的に遊具等を作るなどの活動を通じて理解する。 **＊外部講師による発達と絵本の講座①** 遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるようにする。	a： 遊びを通じて子どもが、豊かに発達することについて理解している。 b: 子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる。 c: 子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。	ﾜｰｸﾉｰﾄ 定期考査	ﾚﾎﾟｰﾄ 作品作成	実習ﾚﾎﾟｰﾄ 作品作成

2学期	子どもの生活	**1 子どもの生活と養護** 子どもが、心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 乳幼児期の栄養や食事(乳汁栄養や離乳食・幼児食など)の特徴を実習を通して理解する。 **2 生活習慣の形成** 子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。 **＊幼児のおやつ(夏期課題)**	a: 子どもの食生活や衣生活について、子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な知識と技術を身につけている。 b: 子どもが、生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 c: 子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	ﾜｰｸﾉｰﾄ 定期考査	ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査	課題ﾚﾎﾟｰﾄ
	子どもの福祉	**1 子ども観** 子ども観は国や地域・時代によって変化していることを理解する。 時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が、世界で共有されつつあることを理解する。 **2 子どもの福祉** 子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 児童憲章や児童の権利に関する条約を通して、児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。 **＊外部講師による発達と遊び講座②** **＊保育士という職業についての講座③**	a: 子ども観の変遷や権利の主体として、尊重されつつある状況を理解している。 b: 児童福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。 c: 児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。 a: 保育士の仕事を理解する。 c: 保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど保育者観についての考察を深める。	ﾜｰｸﾉｰﾄ 定期考査	ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査	課題ﾚﾎﾟｰﾄ

3学期	子どもの福祉	**1 子育て支援** 子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。 また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	a: 児童虐待とはなにか、また、現状と対策について理解している。 b: 子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。 c: 子育て支援の今後の課題と展望について考察し、自分の意見や考えを述べることができる。	ﾜｰｸﾉｰﾄ	ﾜｰｸﾉｰﾄ	課題ﾚﾎﾟｰﾄ

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度